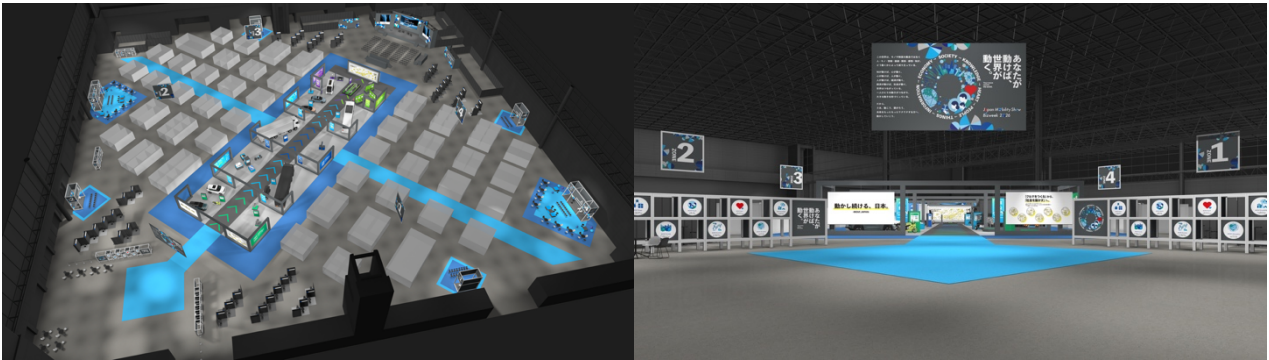


Japan Mobility Show Bizweek 2026 企画詳細を発表 — 共創や出合いを推進する各企画の詳細と会場全体像を初公開 —

一般社団法人 日本自動車工業会（会長：佐藤恒治、以下「自工会」）は、2026 年 10 月 13 日(火)から 10 月 16 日(金)まで、幕張メッセ（千葉県）にて開催する「Japan Mobility Show Bizweek 2026（ジャパンモビリティショービズウィーク 2026）」について、出展者同士や来場者との出合いや共創を推進する各企画の詳細を発表しました。あわせて、会場の全体構成を公開しました。



■新たな共創を推進する会場レイアウト

スタートアップから事業会社、大学・研究機関やコンソーシアムなどの出展者が、それぞれの展示内容によって 4 つの展示ゾーンに分かれてブースを構え、その周辺には未来モビリティ会議を行うメインステージや、アクセラレーション・共創推進プログラムのためのコミュニケーション・エリアなどが配置されるほか、会場の中心に据えた自工会会員企業による合同展示では、実現したい社会像を描き、産業や領域を超えた共創による新たな社会価値の創出を推進する構成としています。出展者数は 217 社（うち海外出展者 14 社、9 月 18 日現在）となりました。

■自工会会員企業による合同展示

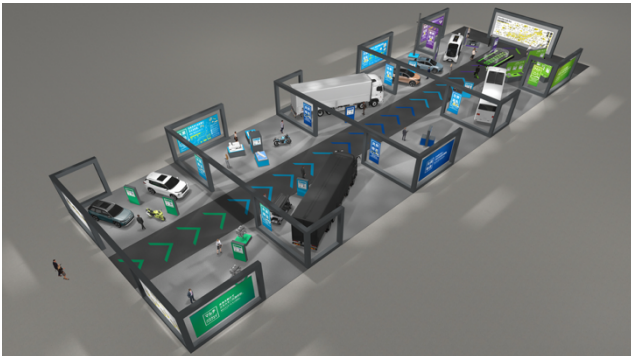
テーマは、「**動かし続ける、日本。— MOVE JAPAN**」。

自工会は、世界的な競争環境の激化や技術変革の加速を踏まえ、社会実装と国際競争力の向上を目指して「新 7 つの課題」に取り組んでいます。本展示では、その「新 7 つの課題」を起点とした 6 つの取り組みを紹介します。単なる製品や技術の展示にとどまらず、モビリティ産業が直面する社会課題に対し、なぜ取り組むのか、その意義や解決に向けた挑戦をわかりやすくお伝えするとともに、それぞれの取り組みや技術がつながることで実現する「未来の社会像」を描きます。さらに、その未来の実現に向けて求められる技術やサービスを提示し、スタートアップやさまざまな分野の事業会社をはじめとする多様な仲間との共創を通じて、社会実装と国際競争力の向上につなげていきます。

< 展示構成：6 つの取り組み >

- ・マルチパスウェイ：選択肢を多様に。「誰も取り残さない」。
- ・水素普及：水素を「運び届け」、「使える様に」。
- ・共同物流：手を取り合って届ける。そして、止めない。

- ・自動運転：事故死ゼロ・自由な移動の実現。
- ・走行中無線給電：クルマが変わり、道も変わる。不安が少ない移動を。
- ・サーキュラーエコノミー：日本らしさで、上手につくる。大事につかう。資源が回る。



■未来モビリティ会議

会場内のトークステージで実施される未来モビリティ会議は、産業の垣根を越えて、モビリティの未来や課題について様々な視点から議論・発信を行うカンファレンスです。具体的な事例やアイデアをもとに、登壇者だけでなく来場者も巻き込んだ議論の場とします。会期4日間を通じて、5つのセッションを実施します。

①特別セッション

モビリティ産業が見逃している「共創の障壁」について議論します。自工会会長の佐藤恒治・副会長の三部敏宏、スタートアップの代表者や有識者が登壇し、モビリティ産業が社会変革を目指すなか、産業を超えた共創の実現のために何がハードルとなっているのか、目的を同じにするために何を解決したいと考えているのか、これらの解決策をどう描けるのかを、登壇者が並列の立場で忌憚なく意見を交わします。

②ビジネスセッション

会場を構成する4つの展示ゾーンと連動し、ゾーンごとのテーマを深掘りする4セッションを実施します。各回、自工会副会長・理事、有識者、スタートアップの代表者が登壇し、技術や制度の解説にとどめず、豊かで夢のあるモビリティ社会の構築に必要な、抱えている課題や社会の環境変化への対応策などを、具体例を交えて議論します。

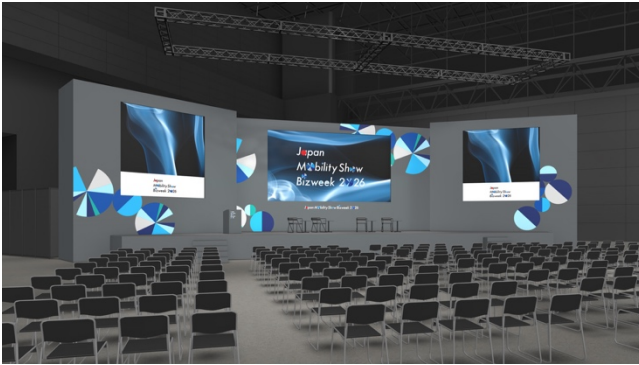
ビジネスセッションテーマ

- ・「テクノロジーとともに、人がもっと人らしく」
～AI・ロボティクスを、「人を置き換える技術」ではなく、「人の可能性を広げる技術」として社会実装させるには～
- ・「環境も経済も、ともにより良い方へ」
～地域・用途ごとのエネルギーベストミックスを設計し、脱炭素を生活者便益と産業競争力に変えるには～
- ・「滞らないシステムで、広がる安心」
～商用車・物流データ・自動運転管制をつなぎ、平時も有事も止まらない物流/交通基盤をつくるには～

・「人もモノもデータも、すべてがシームレスに」

～安全な車両、小型モビリティ、二輪、運行データをつなぎ、地域ごとに横展開できる交通の型をつくるには～

未来モビリティ会議が行われるステージでは、出展者・パートナー企業が主催するトークセッションも行われます。トークセッション主催者それぞれの取り組みや構想を来場者に向けて発信します。6プログラムを予定しています。



■アクセラレーション・共創推進プログラム（2026 年新設）

参加者が主体となって学びや気づきを得る参加型プログラムです。オープンイノベーション支援とアクセラレータープログラムの運営実績を持つ PLUG AND PLAY JAPAN 株式会社を連携パートナーとして実施します。本プログラムは、これまでのマッチング成果を踏まえ、参加者のニーズや関心領域に寄り添った内容としています。

①ワークショップ

参加者が自ら手を動かし、「共創」を具体化する実践型プログラムです。自社の強みや課題を見つめ直し、「何ができるのか」「何が足りないのか」を言語化することから始めます。オープンイノベーションの基礎を学ぶプログラムを全日程で開催するほか、ものづくり、モビリティインフラ、エネルギー、次世代の街づくりなどをテーマに、多様な参加者との対話やグループワークを実施。参加者の現在地に応じた「次の一手」を導き出し、具体的なアクションへとつなげる全 6 プログラム・12 セッションを展開します。

②インプットセッション

第一線の知見と出会い、新たな視点と共創の可能性をひらくセッションです。業界のフロントランナーやスタートアップ、有識者を招き、最新技術や市場トレンド、社会課題への先進的なアプローチを提示します。製造業の DX、技能継承と人材基盤、資源循環、次世代電動化とエネルギーマネジメント、サプライチェーン変革、地域交通と災害レジリエンス、ヘルスケア、マイクロモビリティなど、モビリティ産業とその周辺領域を繋ぐ 16 のテーマを展開。領域を超えた知見と対話を通じて、次なる事業共創のヒントを探ります。

③リバーズピッチ

事業会社が自らのニーズ・課題を公開し、解決できるパートナーを募る逆方向のプレゼンテーションです。課題起点で、精度の高い出会いを生みます。

④ショートピッチ

スタートアップや事業会社が技術・プロダクト・事業構想をプレゼンテーションします。1 社 3 分間で

自社の魅力をアピールし、関心を持った企業・団体との商談・共創へと直接つなぎます。

その他、共創を推進する「ネットワーキングプログラム」なども展開します。各プログラムの実施日時・参加企業は、オフィシャル WEB サイトで順次公開します。プログラムのなかには、事前予約が必要なものもあり、参加申込は Meet-up Box にて受け付けます。一般来場者の予約開始は 10 月 1 日（木）を予定しています。

■ CEATEC 2026 との併催について

社会構造が大きく変化し、あらゆる産業が目まぐるしく発展していく今、一つの技術や一つの業界だけで、その変化に対応することは難しい世の中です。両イベントは、「移動」「技術」というそれぞれの視点から、産業の垣根を越えてこの課題に立ち向かうために、2024 年に初めて同日・同会場で併催し、垣根を超えた共創の創出を図りました。2026 年は、会期初日に、両団体の会長が対談する特別企画セッションや CEATEC 2026 展示への協力など、より連携を強めて「出会いを創り」「共創を推進する」取り組みを行います。

■ 来場事前登録について

入場無料・来場者事前登録制です。来場登録はオフィシャル WEB サイト（<https://www.japan-mobility-show.com/>）からご登録ください。

※CEATEC 2026 と共通のシステムを使用し、一度登録すると両イベントに入場できます。

■ 開催概要

名 称	Japan Mobility Show Bizweek 2026（ジャパンモビリティショービズウィーク 2026）
会 期	2026 年 10 月 13 日(火)～10 月 16 日(金)
会 場	幕張メッセ（国際展示場 展示ホール 2・3）
入 場	無料（全来場者事前登録制）
主 催	一般社団法人 日本自動車工業会（JAMA）
共 催	一般社団法人 日本自動車部品工業会（JAPIA）
後 援	デジタル庁、外務省、経済産業省、国土交通省、環境省、東京都、一般社団法人 日本経済団体連合会、一般社団法人 日本自動車車体工業会（JABIA）、一般社団法人 日本自動車機械器具工業会（JAMTA）、一般社団法人 日本自動車販売協会連合会（JADA）、日本自動車輸入組合（JAIA）、一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）
併催イベント	CEATEC 2026
オフィシャル Web サイト	https://www.japan-mobility-show.com/

< 本件に関する報道関係者のお問い合わせ先 >

Japan Mobility Show Bizweek 2026 PR 事務局（株）プラチナム 内
〒107-0052 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 14F



E-mail: jms-pr-2026@vectorinc.co.jp

TEL:03-5572-6072 FAX:03-5572-6075

<Meet-up Box に関するお問い合わせ先>

Japan Mobility Show Meet-up Box 事務局

<https://jms-meetup-box.com/>